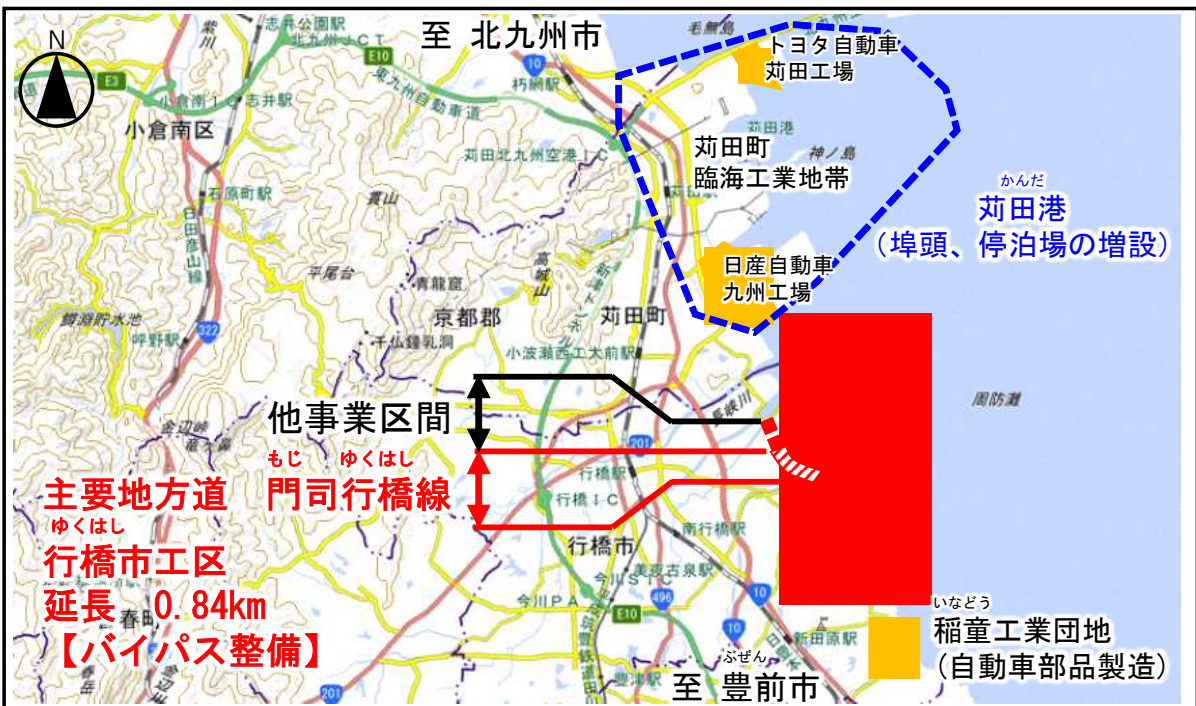
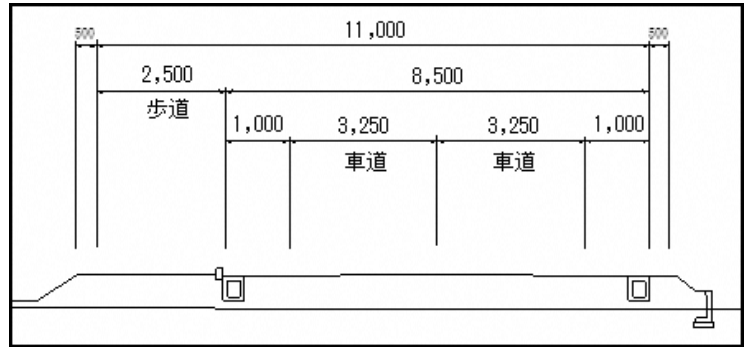


再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：野田 勝

事業名：（空港・港湾アクセス道路） 主要地方道 門司行橋線（行橋市工区）	事業区分：地方道	事業主体：福岡県			
起終点：自：福岡県行橋市大字今井 至：福岡県行橋市大字沓尾		延長：0.84km			
事業概要：主要地方道門司行橋線は、北九州市と行橋市を結ぶ延長約51kmの広域的な幹線道路である。当該箇所の現道は、線形不良・幅員狭小な人家連担部であり、円滑な交通が確保されていない。当該箇所のバイパス整備により、沿道に立地する工業団地から重要港湾である苅田港へのアクセス強化、定時制の確保が期待される。					
H23年度事業化	都市計画決定無し	H28年度用地着手	H29年度工事着手		
全体事業費	約1.4億円	事業進捗率	約48%	供用済延長	— km
計画交通量	4,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C（事業全体）	総費用：（残事業）/（事業全体） 6.2/13億円		総便益：（残事業）/（事業全体） 17/17億円	
	（残事業）	（事業費：5.6/12億円） 維持管理費：0.6/0.6億円		（走行時間短縮便益：21/21億円） （走行経費減少便益：-3.1/-3.1億円） （交通事故減少便益：-1.3/-1.3億円）	
感度分析の結果 （事業全体） 交通量：B/C=1.2~1.4（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2~1.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2~1.3（事業期間±20%） （残事業） 交通量：B/C=2.4~3.0（交通量±10%） 事業費：B/C=2.4~3.0（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.6~2.8（事業期間±20%）					
事業の効果等 ・沿道に立地する工業団地から重要港湾である苅田港へのアクセス強化、定時制の確保が期待される。					
関係する地方公共団体等の意見 ・地域住民説明会を実施し、周辺住民と合意形成を図っている。					
事業評価監視委員会の意見 ・事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・特になし。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地取得率約100%、事業進捗率約48%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・用地の取得に努めるとともに、計画的に道路改良工事、橋梁工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等 ・今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針：事業継続					
対応方針決定の理由 ・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。